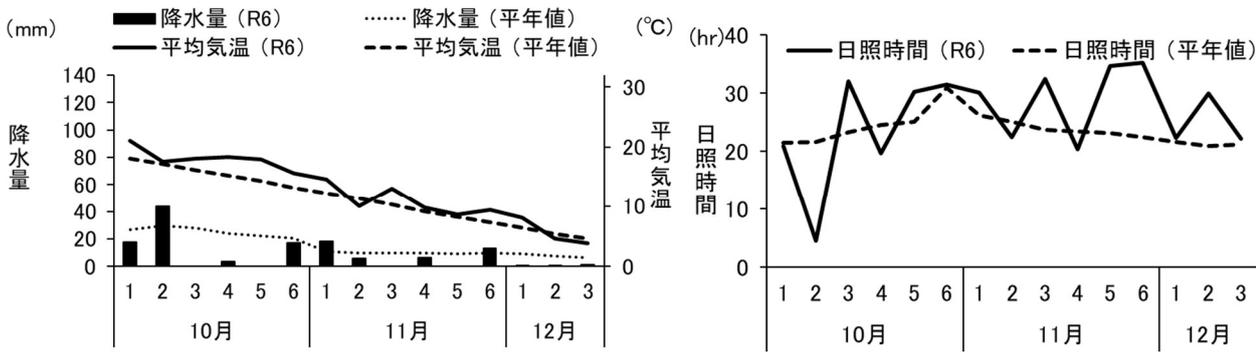




今後の栽培管理のポイント

- (1)排水状況の確認 (2)麦踏み (3)株直し追肥

1. 気象経過 (10月第1半旬~12月第3半旬 仙台アメダス)



- ・10月上旬は降水量が多い傾向でしたが、播種の適期である10月中旬の降雨はほとんどありませんでした。
- ・10月から11月にかけて気温は平年より高く推移しましたが、12月中旬以降はやや低めに推移しています。
- ・日照時間については、10月第2、4半旬は平年より少なくなりましたが、それ以外の期間は平年より多く推移しました。

2. 大麦生育調査結果

表1 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和6年12月13日調査)

品種	ほ場	条間(cm)	播種日	草丈(cm)			莖数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
				本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差
ホワイトファイバー	大和町落合	28.9	11月13日 (10月23日)	7.6	71.0	-	140.1	19.1	-	0.0	-0.2	-
	仙台市宮城野区	25.3	10月14日 (10月5日)	12.8	111.3	114.3	343.9	93.7	52.8	0.3	-0.2	-0.4
シュンライ	仙台市宮城野区	26.4	10月14日 (10月5日)	14.0	126.1	124.6	401.5	81.6	61.5	0.1	-0.7	-0.67

播種日については、()内は前年値。平年値は過去3か年平均。(大和町は、令和5年産から調査開始したため、平年値なし)

・大和町 (ホワイトファイバー)

播種時期が遅れたため、草丈、莖数ともに前年より少なく、幼穂は確認されませんでした。

(参考) 10月25日播種の大和町三ヶ内のシュンライは、幼穂長が平均0.1mm、葉齢が3~4葉となっており、生育は順調でした。

・仙台市（ホワイトファイバー、シュンライ）

播種は適期に行われました。ホワイトファイバーの茎数は、343.9本/m²（平年比52.8%）で、平年より少なくなりました。ほ場の一部で、ハクチョウによる食害が見られました。

シュンライは、茎数が401.5本/m²（平年比61.5%）と、平年よりは少ないものの、年内の生育目標に達しています。

ホワイトファイバーの幼穂長は0.3mm（前年差-0.4mm）シュンライの幼穂長は0.1mm（前年差-0.67mm）、で、平年よりも短い結果となりました。

○年内の生育目標…葉齢：5～6葉、分けつ：1～2本、茎数：400～500本/m²



大和町ホワイトファイバー



仙台市ホワイトファイバー



仙台市シュンライ

3. 今後の栽培管理（大麦・小麦共通）

（1）排水状況の確認

- ・融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。

「暗きよの再点検（閉じていないか）」と「明きよの手直し」を行いましょう。

（2）麦踏み

3～4葉期以降から麦踏み可能です。



生育過剰なほ場では、ほ場に入れるようであれば麦踏みを実施しましょう。

- ・実施時期：年内に1回 + 越冬後雪解けから茎立ちまでに1～2回

「茎立ち」の目安：主稈長 2cm 程度、幼穂長 2mm 程度



下記の状態では逆効果なので、麦踏みは実施しないようにしましょう。

- ①生育遅れで3葉期未満
- ②鳥類の食害がある
- ③ほ場が湿っている

＜効果＞ 越冬前→寒害・霜柱防止

越冬後→穂揃いの均一化など

- ・「ホワイトファイバー」は「シュンライ」と比べてやや倒伏しやすいため、越冬後は1～2回を目安に麦踏みを実施しましょう。
- ・「夏黄金」は、遅れ穂が発生しやすい傾向があるため、麦踏みは越冬前1回、越冬後1～2回を目安に必ず実施しましょう。

(3) 株直し追肥

- ・下の表を参考に、株直し追肥（2月上～中旬頃）を行いましょ。
- ・生育量が多い場合にも、葉の黄化が目立つ場合や鳥類の食害がある場合等は、株直し追肥を行いましょ。

表2 株直し追肥の目安

生育状況		施肥量 (窒素成分)
生育量が多い	葉の黄化が少ない	1kg/10a
	葉の黄化が目立つ	2kg/10a
生育量が少ない		2kg/10a

※平均気温 4℃以下の場合・雪がある場合
→ 肥料の効きが悪くなるので行わない！

【東北地方3か月の気象予報】 11/19 仙台管区气象台発表

(R6) 12月：平年と同様に晴れの日が多く、降水量、気温はほぼ平年並の見込み。

(R7) 1月：平年と同様に晴れの日が多く、降水量、気温はほぼ平年並の見込み。

2月：平年と同様に晴れの日が多く、降水量、気温はほぼ平年並の見込み。

【東北地方向こう1か月の天候の見通し（12/21～1/20）】

12/19 仙台管区气象台発表

- ・寒気の影響を受けやすいため、向こう1か月の気温は低いでしょう。
- ・平年と同様に晴れの日が多いでしょう。